

2020年度・プムセ国際大会派遣選考基準

2019年12月10日

強化委員会

選考委員会

1、2020年度派遣対象大会

世界プムセ選手権大会を除く国際大会について、WTが定めるG1以上の大会のうち1大会を派遣予定とする。当面下記大会を想定するが、アジア圏で同等の大会が設定された場合はこの限りではない。

- ・ポリッシュオープンプムセ2020 (2020年10月 ポーランド・ワルシャワ)
- ・クロアチアオープンプムセ2020 (2020年10月 クロアチア)
- ・USオープンプムセ (通例では2021年2月 アメリカ)

2、選考基準大会

- (1) 2020年度プムセ強化指定選考 兼 世界プムセ選手権大会派遣および国際大会派遣選考会
- (2) 第4回少年少女選抜テコンドー選手権大会

3、2020年度プムセ国際大会派遣選考について、以下の選考基準にて実施する。

- (1) 選考対象は、カデット、ジュニア、U-30とする。規定プムセ及びニュープムセ、フリースタイルプムセを個人、ペアでの選考を検討する。
(以下の表のとおり)。(○が選考対象種目)

		カデット	ジュニア	U-30
規定プム及 び ニュープムセ	個人	○	○	○
	ペア	○	○	○
	チーム	×	×	×
フリースタイル プムセ	個人	○	○	○
	ペア	○	○	○
	ミックス	×	×	×

- (2) 強化委員会において、後記(4)で定める選考対象選手の中から、後記(5)で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記(5)で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手派遣を行わないものとする。
- (3) 前記(2)にて選出された選手につき、強化委員会から選考委員会に答申し、選考委員会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

(4) 選考対象選手

2020年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手のうち以下の項目のいずれかを満たす選手を選考対象選手とする。

- ア 「2020年度プムセ強化指定選考 兼 世界プムセ選手権派遣および国際大会派遣選考会」に出場した選手
- イ 「第4回少年少女選抜テコンドー選手権大会」の出場者
- ウ 2020年度プムセ強化指定選手および育成選手

エ 下記の要件を満たす者

- ① 当協会に個人会員として登録されている者
- ② 日本国籍を有する者（2020年3月末時点で日本国籍を持つ選手に限る）
- ③ 国際大会でメダル獲得または入賞を目指せる全日本テコンドー協会の期待に応え得る競技力を持つ者
- ④ 全日本テコンドー協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守していること
- ⑤ 大会に出場できないスポーツ障害・疾病がない者
- ⑥ 全日本テコンドー協会強化計画に沿って活動できる者
- ⑦ 国技院が定める段位または品位取得者

(5) 選考基準

ア 個人競技

「2020年度プムセ強化指定選考 兼 世界プムセ選手権大会派遣および国際大会派遣選考会」、「第4回少年少女選抜テコンドー選手権大会」の成績が3位以内で得点7.2点以上の者、かつ国際大会を経験させることでさらなる成長が見込める者

イ ペア競技

前記アで選考された男女個人または、選考には漏れたがそれに準ずる成績の者の中で前記ア及びイにて選考された男女個人よりも上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者。個人カテゴリーで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者とする。

ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定プムセのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定プムセ+フリースタイルプムセを試技して総得点を競う）となった場合は、2020年度プムセ強化指定選考 兼 世界プムセ選手権および国際大会派遣選考会におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して選考する。

4、選考対象種目、選考対象選手について

派遣対象大会のうちで決定した大会の要項を精査し、その大会の選考基準を別途定めた上で強化委員会が原案を作成し、選考委員会の承認をとること。

附則《2019年12月10日》

2019年12月10日の理事会にて報告・承認された「2020年度・プムセ国際大会選手選考基準」は同日から施行する。